コモン・グッド基金学生プロジェクト
募集要項

CGG × JICUF JAPAN ICU FOUNDATION × Service-Learning Center ICU

1. コモン・グッド基金学生プロジェクトについて

コモン・グッド基金学生プロジェクト（以下、CGG）は、国際基督教大学（ICU）のサービス・ラーニング・センターと日本国際基督教大学財団（JICUF）が、地域コミュニティの支援を目的として学生委員会を選出し、地域の非営利団体へ100万円の資金提供を行うプロジェクトです。

ICU近隣の地域団体と相互関係を構築し、協働を通して、社会全体の共通善（コモン・グッド）に貢献します。

2. 助成金の種類と助成金額

CGGでは、2種類の応募枠を設け、合計で100万円を助成します。

＝ 助成金の種類 ＝

三鷹市、小金井市、武蔵野市、調布市を拠点に活動する非営利団体を対象に、団体が企画するプロジェクト実施のために助成金を交付します。

プロジェクトとは、実施団体の理念に基づき、コモン・グッドを推進するために企画・実行される一連の活動のことです。例えば、子ども食堂が主催する居場所作りイベント、環境団体のクリーン・アップ・プロジェクトなどが該当します。令和7年3月までに実施されることを条件に、時期を分けて開催することも可能です。

また、複数の団体が共同で申請することも可能です。申込書には、全ての団体について詳細を記載してください。

CGGでは、プロジェクト実施団体の法人格の有無を基準に、2種類の応募枠を設けます。

(a) 新規団体枠

法人格を持たず、1年半未満の活動実績のある非営利団体を対象とした応募枠です。

(b) 普通枠

法人格の有無に限らず応募いただけます。(a) 新規団体枠に該当する団体でも、申請金額などに応じてこちらの枠で応募していただくことも可能です。ただし、併願はできません。

＝ 助成金額 ＝

提出していただいた書類や面接を元に、ルーブリック(「5. 審査方法」参照)を用いて評価し、点数の高い団体から申請していただいた金額を助成します。応募枠による金額の条件がありますので、ご確認ください。

(a) 新規団体枠

新規団体枠には、20万円を割り当てています。一団体を選定し、20万円交付します。

(b) 普通枠

普通枠には、80万円を割り当てています。しかし、CGGは、ICU近隣の地域団体との協働を通してコモン・グッドに貢献することを目的としていますので、より多様な団体と相互関係を築くべく、申請金額の上限は40万円とします。応募時に、プロジェクトに必要な金額を申請してください。

また、新規団体枠への申請がない場合、20万円は、普通枠での応募団体に交付します。

3. 助成対象となる経費の要件

助成対象とするのは、プロジェクトの目的を達成するために必要で、コモン・グッドを推進する(社会に偏りなく利益を生み出す)経費です。

例えば、下記のような経費が含まれます:

- 消耗品費
- 燃料・旅費
- 食糧費
- 広告料
- 使用料及び賃借料
- 原材料費
- 備品購入費
- その他

応募申込用紙③に詳細を記載してください。

4. 応募方法

申込用紙に必要事項を記入し、メールまたは郵送でお送りください。
期限:2023年12月15日(当日消印有効)

なお、申請書類を受け取りましたら、応募申込書に記載のメールアドレスまたはお電話にてご連絡いたします。

＜メールでの提出＞

手書きまたはパソコン入力で記入し、PDF形式で下記の宛先までお送りください。手書きの場合は、ウェブサイトにありますPDF版の申込書をお使いください。

宛先：cgg@icu.ac.jp
件名：【CGG応募申込書提出】団体名

＜郵送での提出＞

手書きまたはパソコン入力で記入し、A4サイズで印刷をして下記の宛先までお送りください。手書きの場合は、ウェブサイトにありますPDF版の申込書をお使いください。

〒181-8585
東京都三鷹市大沢3丁目10-2
サービスラーニングセンター　コモングッド基金学生プロジェクト宛

5. 審査方法

受給団体は、一次審査（書類）と二次審査（面接）によって決定します。

書類受領後、12月18日（月）までに一次審査の結果と面接日程に関するご連絡をメールアドレスまたはお電話にて差し上げます。

面接は、一次審査を通過した団体を対象に、12月20日（水）～22日（金）に、対面またはオンラインにて行います。応募申込書に、日時の候補の記入をお願いいたします。その他の日程をご希望の場合は、希望日時をお書きください。

所要時間は、15分から30分程度を予定しております。主な内容は、申込書に記入していただいたことの確認になります。

書類と面接の両方を、CGG学生委員がルーブリック（本要項最終ページ参照）に沿って評価します。

6. 採用決定後

選考結果は、メールアドレスまたはお電話にて、1月上旬に通知します。交付手続きを経て、令和6年4月に給付の予定です。

また、プロジェクト実施終了の翌月末までに、所定の用紙で下記を提出していただきます。

- 報告書
- 証憑書類（領収書など）
- 開催要項やチラシなど参考資料

7. その他注意事項

助成決定後、下記のような場合には、採用を取り消すことができることとします。

- 弊団体の承認を得ないプロジェクトの変更及び中止
- 助成金の目的外使用
- その他、弊団体が不適当と認めた場合

複数団体の合計点数が同点になった場合の対応としては、以下の項目の優先順位に従って、受給対象団体を決定することとします。

- 1位「実現性・計画性」
- 2位「社会的ニーズへの適合性、コモン・グッド」
- 3位「団体の持続可能性」
- 4位「国際基督教大学との繋がり」

なお、昨年度給付を受けた団体でも、今年度給付を受けることは可能となります。

＜問い合わせ先＞
ご質問等ございましたら、お気軽に下記メールアドレスよりお問い合わせください。

問い合わせ先：cgg@icu.ac.jp

評価ルーブリック

配点	社会的ニーズへの適合性、コモン・グッド	実現性・計画性	団体の持続可能性	国際基督教大学との繋がり
1	受益者のニーズやコモン・グッドの考慮がない	具体的な実行計画がなく、プロジェクト実行に当たり、資金・ICUとの繋がり以前の課題がある	目の前のプロジェクトだけに注力しており、今後の資金やサポーター・スタッフについて見通しがない	応募理由が資金だけであり、ICUやコモングッド基金である必要が見られない
2	受益者のニーズを考え、ある程度有益と思われる活動になっている	資金・ICUとの繋がりの必要性がわかる実行計画があるが、給付により進歩があまり見込めない	中長期の目標を考えている	ICUのコモン・グッド基金に申請する理由が説明されており、相互関係を構築する計画が記されている
3	受益者のニーズとコモン・グッドを考慮した、ある程度有益と思われる活動になっている	資金・ICUとの繋がりの必要性がわかる実行計画があるが、プロジェクト内容・予算の具体性に欠ける。給付により進歩がある程度見込める	中長期の目標と必要な資源（資金・人）を考えている	ICUのコモン・グッド基金に申請する理由が十分に説明されており、相互関係を構築する計画が具体的に記されている
4	受益者のニーズが論理的に説明されている。受益者に利益があり、コモン・グッドにかなっている	実行計画を立案していて、資金・ICUとの繋がりに課題があることがわかる。実行計画に基づき、ある程度妥当な予算である。給付により進歩が見込める	中長期の目標があり、今後の資金（収入源）とサポーター・スタッフの見通しがあるが、実現性に欠ける	ICUのコモン・グッド基金に申請する理由と必要性が十分に説明されており、実現性も考慮した相互関係の構築計画が記されている
5	受益者のニーズを実際に調査していて、活動が有益であると自信を持って主張できている。受益者に利益があり、コモン・グッドにかなっている	細部まで実行計画を立案していて、資金・ICUとの繋がりだけが課題な状態である。実行計画に基づき、妥当な予算である。給付により進歩が見込める	中長期の目標がある。今後の資金（収入源）があり、サポーター・スタッフがいる。持続的に活動する見通しと、ある程度の具体案がある	ICUのコモン・グッド基金に申請する理由と必要性が十分に説明されており、相互関係の構築計画は十分実現的である